

交流演奏会に参加して

吹奏楽部 部長 中野 弘菜

私達吹奏楽部は、9月26日（土）～30日（水）の間、沖縄県にて交流演奏会を行ってきました。交流演奏会とは、15年ほど前から吹奏楽部で毎年行っている伝統の行事です。事前に交流校と演奏する曲を相談し、楽譜を送り合うなどしてお互いに練習をしておき、当日パート練習、合奏へと演奏を仕上げ、交流校の先生方、保護者、地域の方々を招いて演奏会を行ないます。普段は北海道内の学校とは交流をする機会は多いのですが、沖縄県の高校は吹奏楽が大変盛んで、私たちと同様に比較的人数の少ない学校も大変活躍しています。

気候や文化の違いもあり、沖縄の高校生とは、考え方や練習の仕方にも違う点が多くあり、納得することもあれば、驚くことも多い、という感じです。

出発当日は台風の影響が心配されましたが、天気は悪かったものの何とか那覇空港に到着することができました。1日目の9月26日（土）に、今年は初めて宿泊先のロワジールホテル&スパタワー那覇の全面的なご協力のもとで、2階のオープンテラスでミニコンサートを開かせて頂きました。開催予定時刻の30分前に、風雨が強く中止を決断しましたが、何と10分前に突然晴れてきて、ぬれた床も湯き始めて、無事実施することができました。観客はバーベキューやプールを楽しむ宿泊客20名でしたが、温かい拍手を頂き、ホテルの方からもジュースをごちそうになり、とても嬉しかったです。

1校目の沖縄県立首里高等学校さんは、沖縄県での開催が始まったときから毎年お邪魔しており、自分の学校に帰ってきたようなリラックスした気持ちで演奏することができました。

首里高校には普通科の他に「染織デザイン科」という科があり、生徒達は織物の機械に一日中向かって作品を製作することも多いそうです。実際に仕上げた作品も見せていただきましたが、高校生が創ったとは思えないくらいきれいでした。

2校目は沖縄県立糸満高等学校で開催しました。こちらの学校には去年から訪れているのですが、校長先生がいらっしゃって校長室にお招きいただき、3月に野球部が甲子園に出場した際に応援で使用したおそろいの帽子、タオル、糸満高生が使っているオリジナルの自習用ノートのおみやげまで頂き、大変感激しました。半分以上の生徒が顔見知りで、すぐに練習も始められ、本番の際には三線（沖縄三味線）の講師の先生もお越しになって、演奏も聴くことができました。あっという間に演奏会が終わってしまい、楽しすぎて残念でした。

3校目は、今年初めて沖縄県立南風原（はえばる）高校さんを訪れました。まず大学のよな、コンクリートうちっぱなしの開放的で巨大な校舎に驚きました。こちらは現在部員2名！ですが、その2人が複数の楽器を掛け持ち、練習内容も密度が濃く、演奏の力も非常に立派で圧倒されました。当日は引退した3年生の皆さんも駆けつけて下さったのですが、3年生を入れても全部員8人で夏のコンクールを乗り切り、しかも管楽器をリコーダーに持ち替えて、リコーダーの全国大会にも出場したそうです。とても同じ高校生とは思えませんで

した。練習内容をたくさん教わり、現在も練習に生かしています。

このような交流演奏会を実施することができて、先生方をはじめ多くの方々に大変感謝しています。他の学校ではできないこのような経験ができて、札幌静修高校吹奏楽部の部員であることをとても誇りに思います。今回の演奏会に協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。